

岐阜地区社会教育だより

～研修会～

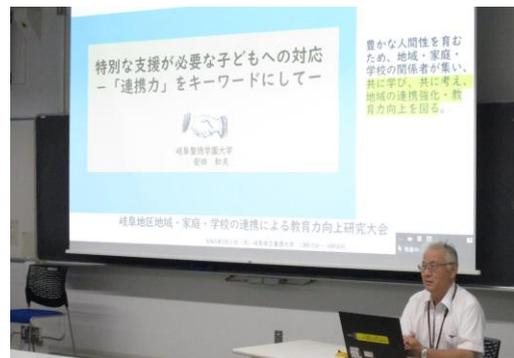
岐阜県環境生活部環境生活政策課
生涯学習係 岐阜地区社会教育担当
〒500-8570
岐阜市藪田南 2-1-1
TEL 058-272-1111 (内線 2919)

地域・家庭・学校の連携による教育力向上研究大会を開催

8月21日(月)、岐阜県立看護大学にて「令和5年度 岐阜地区 地域・家庭・学校の連携による教育力向上研究大会」を開催しました。この研修は、子どもたちが地域で行う様々な活動を支えている団体や個人、地域の保護者、学校教育関係者等が一堂に会して、先進事例に学ぶことで資質の向上を図ると共に、三者の連携の大切さを再認識する機会としています。以下に参加者の感想をご紹介します。

【 講演 】『子ども理解 ～特別な支援が必要な子への対応～』 岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 安田和夫氏

- ・特別な支援を実践している方々の話は大変具体的で学びがありました。
- ・肯定的に接するという子ども理解や、困った行動への対処方法を示していただき、人間関係や信頼の構築を基盤とすることを教えていただきました。
- ・特別な支援が必要な子どもへの対応は、地域・家庭・学校の「連携力」が大切であり、それぞれの役割やよさを生かし、子どもの居場所をつくることが重要であることを学びました。
- ・就学前、学校、その後というライフステージにおいて、それぞれが連携して、支援が必要な子どもが地域の中でどのように生きていけるかについて一緒に考えることが大切であることが分かりました。
- ・特別な支援を必要とする子どもへの関わり方について学校職員の理解は進んでいますが、地域の理解も深めていくために有意義な講演内容でした。その子どもにあった支援を学校や地域ができるようになるため、支援の仕方も地域、家庭、学校、行政が情報交流しながら行う必要があることの認識を深めました。
- ・地域で困り感のある子どもをどのように受け止めていくとよいかを考えるきっかけになりました。



【実践発表】「公民館と地域づくり～コロナ禍を経て学んだこと～」

各務原市 各務原市役所 いきいき楽習課 長瀬 由美 氏

- ・子どもから高齢者までの生涯学習の機会の充実について具体的な取り組み事例が紹介され、市として精力的に進められていることを知りました。
- ・コロナ禍でもYouTube動画の作成などの工夫した活動が参考になりました。
- ・マジックや盆踊り、フラダンス、音楽サークルなどの出張クラブサークルの実践



や、スマホ講座を高校生が行うなど若者の力も得る取組方法など参考になりました。

- ・学校と地域をつないでいくヒントがありました。ららら子ども講座や出張サークルのような地域も学校もWinWinの活動を推進したいと思います。

【施策説明・交流】コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

岐阜県環境生活政策課 課長補佐 太田 千香子

- ・地域のコミュニティや学校で連携していく動きを理解し、地域全体で連携していこうという新たな動き、新たな地域の在り方が模索されているのだと感じましたので、連携を意識して実践していきたいと思います。
- ・学校、PTA、地域と連携して、地域活動で子供たちが楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。
- ・地域、家庭、学校、行政という異なる立場の方の考えを聴くことで、新たな視点が生まれました。いろいろな立場の方の考えを聴くことの大切さを認識したので、自身の地域や学校でも、対話の場を作ることを考えていきたいと思いました。
- ・グループワークでは、参加者の方から温かい励ましの言葉もいただきました。
- ・学校運営協議会を設置して活動していますが、活動の充実度に差があります。
- ・伝統芸能を子どもたちに教えることや、高齢化による人口減少の課題、地歌舞伎や寺子屋事業を実施しているなど、複数の市町でそれぞれの現状や課題を交流でき、互いに学ぶことができました。



地域・家庭・学校が連携することで、特別な支援が必要な子に対して継続的に支援できることを認識する有意義な学びの機会となりました。今回の研修で学んだことを生かし、それぞれの地域で三者が連携した活動を推進されることを期待しています。